

外用消炎
鎮痛剤

第2類
医薬品

販売名:アンメルツNEO
External Anti-Inflammatory/Analgesic

△ 使用上の注意

☒ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は使用しない

(1)本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人 (2)ぜんそくを起こしたことがある人 (3)妊婦または妊娠していると思われる人 (4)15才未満の小児

2. 次の部位には使用しない

(1)目の周囲、粘膜など(2)皮ふの弱い部位(顔、頭、わきの下など) (3)湿疹、かぶれ、傷口 (4)みずむし・たむしなどまたは化膿している患部

3. 本剤を使用している間は、他の外用消炎鎮痛剤を使用しない

4. 長期連用しない



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談する (1)医師の治療を受けている人 (2)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 (3)次の医薬品の投与を受けている人 ニューキノロン系抗菌剤

2. 使用中または使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、このパッケージを持って医師、薬剤師または登録販売者に相談する

関係部位	症 状
皮 ふ	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、痛み、刺激感、熱感、皮ふのあれ、落屑(フケ、アカのような皮ふのはがれ)、水疱、色素沈着

まれに下記の重篤な症状が起こることがある
その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮ふのかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁などがあらわれる
接触皮膚炎、光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・ただれなどの激しい皮膚炎症や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみなどの症状が全身にひろがることがある。また、日光があたった部位に症状があらわれたり、悪化することがある

3. 5~6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、このパッケージを持って医師、薬剤師または登録販売者に相談する

特 徴

- ①ジクロフェナクが患部に浸透、痛みを鎮める
- ②3種の血行促進成分がじんじんという温かな実感とともに、滞った患部の血流を改善
- ③I-メントール5%配合、爽快な使い心地

【成分・分量】100g 中

ジクロフェナクナトリウム 1g
I-メントール 5g
トコフェロール酢酸エステル 100mg
ノナン酸バニリルアミド 12mg
ニコチン酸ベンジルエステル 10mg
添加物として、グリチルレチン酸、ミリスチン酸イソプロピル、プロピレンジコール、ジプロピレンジコール、乳酸、エタノールを含む

【用法・用量】

1日3~4回、適量を患部に塗布する。ただし、塗布部位をラップフィルムなどの通気性の悪いもので覆わない。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しない

〈用法・用量に関する注意〉

(1)定められた用法・用量を厳守する (2)本剤は、痛みやはれなどの原因となっている病気を治療するのではなく、痛みやはれなどの症状のみを治療する薬剤なので、症状がある場合だけ使用する (3)本剤は外用にのみ使用し、内服しない (4)1週間あたり50gを超えて使用しない (5)目に入らないように注意する。万一、目にに入った場合には、すぐに水またはぬるま湯で洗う。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受ける (6)使用部位に他の外用剤を併用しない (7)通気性の悪いもの(ラップフィルム、矯正ベルトなど)で使用部位を覆い、密封状態にしない ●皮ふの特に弱い方は、同じところに続けて使用しない

●スポーツや入浴など、汗をかく前・後に使用した場合、ヒリヒリとした刺激、痛みや熱感が増すことがあります。これらの症状が強い場合は、石けんで洗い流すと緩和します

火気厳禁 アルコール類 危険等級II
エタノール含有物 水溶性

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

あつたら
いいな
をカタチにする
小林製薬

使用に際して、この説明書きを必ず読むこと。また必要なときに読めるよう大切に保管すること。使用期限(パッケージ底面および容器底面に記載)を過ぎた製品は使用しないこと

【効能・効果】

肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎(手・手首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫

【保管および取扱い上の注意】

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しいところ(冷暗所)にキャップをしっかりと立てて保管する (2)火気に近づけない (3)小児の手の届かないところに保管する (4)他の容器に入れ替えない(誤用の原因になったり品質が変わる) (5)使用期限をすぎた製品は使用しない。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用する ●キャップをしっかりとしめないと液がもれことがある ●プラスチック製品(眼鏡わく、くし、便座など)、化織の衣類、木材(塗料塗り家具、床など)、皮革などに液がつくと損耗したり、シミになることがあるので注意する ●衣類に付着した場合には、各衣類の洗濯表示に従って、すみやかに洗う 製品のお問い合わせは、お買い求めのお店またはお客様相談室にお願いいたします

発売元 小林製薬株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10

製品のお問い合わせ先(お客様相談室)

☎0120-5884-01

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

ホームページ <http://www.kobayashi.co.jp>

製造販売元 小林製薬株式会社

〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-30-3